

令和6年5月8日

斉藤国土交通大臣コメント

北海道新幹線（新函館北斗・札幌間）については、平成24年に着工し、現在、鉄道・運輸機構において、トンネル等の土木工事を行っているところです。

この北海道新幹線の工事に関して、本日、鉄道・運輸機構より、建設主体としては、現状を踏まえると令和12年度末（2030年度末）の完成・開業については極めて困難と考えられるとの判断に至った旨の報告がありました。

これに関して、私からは、鉄道局及び鉄道・運輸機構に対して以下の指示をいたしました。

- ・本事業について地元関係者等の大きな期待があるところであり、それを踏まえて、その報告内容が合理的であるのか、講じることができる方策がないか、有識者の知見も頂きつつ、様々な角度・観点から検討を行い、改めて全体工程の精査を行うこと。
- ・開業目標に関する今後の見通しについての検討作業を早急に開始する必要があるので、鉄道・運輸機構においても、その検討作業にしっかり対応すること。
- ・その際、地質不良等の現場における最新の技術・ノウハウなど実務面での英知を横断的に集結するとともに、人材や資機材の確保など幅広く関係者の協力を得るなどして、工程遅延を短縮するための様々な検討を行い、一日も早い完成・開業を目指すこと。
- ・地元自治体等の関係者に丁寧な説明を行うこと。

国土交通省としましては、引き続き、関係者の皆様と一緒に、北海道新幹線の着実な整備に努めてまいります。